

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 芸術 科目 工芸Ⅰ

教科： 芸術 科目： 工芸Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 組～ 組

使用教科書： 工芸Ⅰ（日本文教出版）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 工芸Ⅰ	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫う、工芸の働きなどについて考え、工芸の働きなどについて考えるとともに、思いや願いなどから発想や構想を練ったり、工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	工芸や工芸の伝統と文化を豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数		
			身	社								
前期	○オリエンテーション 【思考力、判断力、表現力等】 身の回りの工芸作品などから、受け継がれてきた日本の工芸の特質や美意識、自然観などを感じ取り、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、工芸作品などから、日本の工芸の特質や美意識、自然観などを感じ取り、想像力を働かせ工芸の伝統と文化について考え、見方や感じ方を深める創造活動に取り組もうとする。	・ 工芸とは何か ・ 伝統工芸品について			○	○			○	○	1	
	○手びねりによる器の制作 【知識及び技能に関する目標】 意図に応じて材料や用具を生かし、手順や技法を吟味して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 使う人の願いや心情、生活環境などから食事を心豊かに演出する器を発想し、使用する人や場などに求められる機能と美しさとの調和を考え、構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、使う人の願いや心情、生活環境から食事を心豊かに演出する陶芸の表現の創造活動に取り組もうとしている。	・ やきものとはなにか ・ 手びねりの技法について				○	○		○	○	11	
	○木工による箸の制作 【知識及び技能に関する目標】 意図に応じて材料や用具を生かし、手順や技法を吟味して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 生活を心豊かにする木工による箸を発想し、使う人や場に求められる機能と美しさの調和を考え、制作の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、使う人の願いや心情、使用場面から生活を心豊かに演出する木工の表現の創造活動に取り組もうとしている。	・ 彫刻とはなにか ・ 木彫の技法について			○				○	○	○	12
	○金工によるカトラリーの制作 【知識及び技能に関する目標】 意図に応じて技法を生かし、手順や技法を吟味して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 使用目的や機能と美しさの調和を考え、心豊かに簾籠を発想し、金工によるカトラリーの装飾性を考えながら制作の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、使う人の願いや心情、生活環境から生活を心豊かに演出する編組の表現の創造活動に取り組もうとしている。	・ 金工とはなにか ・ 金工の技法について				○			○	○	○	11

後期	○板づくりによるランプシェードの制作 【知識及び技能に関する目標】 意図に応じて技法や用具を生かし、手順や技法を吟味して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 使う人の願いや心情、生活環境などから生活を心豊かに演出するランプシェードを発想し、使用する人や場などに求められる機能と売る櫛さとの調和を考え、構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、使う人の願いや心情、生活環境から生活を心豊かに演出する陶芸の表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	【知識及び技能に関する目標】 意図に応じて材料や用具を生かし、手順や技法を吟味して創造的に表している。 【思考力、判断力、表現力等】 使う人の願いや心情、生活環境などから生活を心豊かに演出するランプシェードを発想し、使用する人や場などに求められる機能と売る櫛さとの調和を考え、構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、使う人の願いや心情、生活環境から生活を心豊かに演出する陶芸の表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	○籐編みの制作 【知識及び技能に関する目標】 意図に応じて技法や用具を生かし、手順や技法を吟味して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 使う人の願いや心情、使用する場などから、生活を心豊かに演出する籐編みを発想し、使用する人や場などに求められる機能と美しさの調和を考え、構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、使う人の願いや心情、使用場面から生活を心豊かに演出する染織の表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	【知識・技能】 意図に応じて材料や用具を生かし、手順や技法を吟味して創造的に表している。 【思考力、判断力、表現力等】 使う人の願いや心情、使用する場などから、生活を心豊かに演出する籐編みを発想し、使用する人や場などに求められる機能と美しさの調和を考え、構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、使う人の願いや心情、使用場面から生活を心豊かに演出する染織の表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	17
	・生活豊かなにするありかについて ・板づくりの技法について							
合計								70